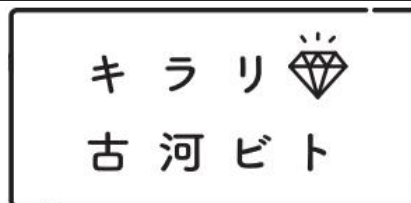


本校の会計ビジネス科卒業生が広報古河(5月)に掲載されました!

令和5年3月1日に本校の会計ビジネス科を卒業した清水直樹さんが広報古河(5月)に掲載されました。卒業する前に古河一高で取材を受けた内容が載っています。清水さんは高校在学中に全国商業高等学校協会(全商協会)が主催する検定試験1級に全て合格する快挙を成し遂げました。1級9種目(全種目)に合格した生徒は本校で初めての出来事のため、関係者一同大変嬉しく思っております。また、昨年度は茨城県内で全商検定1級9種目(全種目)を達成したのは清水さんのみでした。



全商検定9冠達成

古河第一高等学校

清水直樹さん18歳・東本町

高校在学中、全国商業高等学校協会(全商)主催の検定試験全9種目で1級に合格する快挙を成し遂げた清水さん。将来は日本経済を支える仕事がしたいと公認会計士を目指して日々勉強に励んでいます。9冠達成に至るまでの道のりや今後の目標などについて伺いました。

全商検定は、商業高校の生徒を中心に全国で100万人以上が受験する検定試験で、簿記やプログラミングなど全9種目あり、内容は多岐にわたります。その中でも難易度が高いといわれる英語検定に2年生の12月に挑戦し、校内で受験した生徒の中で唯一合格したことがきっかけで、9冠を目指したと言います。

9種目の中でそろばんは苦手だった種目の一つ。授業では教わらないため、放課後、担当の先生に質問したり、自習の時間を活用したりするなどして勉強に取り組んできたそうです。その結果、日々の努力が実り、古河一高の歴史上、誰も成し得なかった快挙を達成しました。

部活動は簿記・珠算部に所属し、3年生最後の大会では県の代表として全国大会にも出場。顧問でもあり、クラス担任としても3年間指導に当たってきた青柳先生は「自分で考え、スケジュールを立て実践できるのが彼の強み」と話します。

「将来のことを考えて人生を逆算して行動してほしい」と後輩たちにエールを送る清水さん。今春からは大学でさらなる学力の向上を目指しています。将来は公認会計士になって日本経済を支える担い手として活躍したいと自身の夢を語る目は、希望に満ちあふれていました。



▲趣味は筋力トレーニングです



▲全国高等学校簿記競技大会に出場



▲合格証書は清水さんの努力の結晶です

清水さんは高校在学中の令和5年2月4日（土）茨城新聞にも掲載されました。（Yahoo ニュースにも取り上げられました。）現在は大学に進学し、夢の実現へ向けて日々努力しているそうです。これからの活躍も期待しています。



— 本校の応接室にて、令和5年1月27日（金）に取材を受けました —



2023年（令和5年）2月4日（土） 茨城新聞 第20面

茨城新聞クロスアイ URL

https://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=16754219992108